

高等学校 令和6年度

教科 国語

科目 論理国語

単位数： 2 単位

教科 国語

科目 論理国語

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 東京書籍「精選 論理国語」 ）

- 教科 国語
- 科目 論理国語
- の目標：
- 【知識及び技能】
- これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
前期	「いつもそばには本があった」 読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	・教科書 ・国語辞典			○ ○	【知識及び技能】 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学的視点に立った筆者の思考に触れながら、自身の「読書」についての意見をまとめ、発表する。	○	○	○	5
	「ミロのヴィーナス」 具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	・教科書 ・国語辞典			○ ○	【知識及び技能】 「特殊」「普遍」「逆接」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 抽象的語句や逆説的、比喩的表現を整理し、それらがもたらす効果について理解し、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の理解を踏まえたうえで、「芸術」についての見方を深め、説明しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
	「相手依存の自己規定」 具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	・教科書 ・国語辞典			○ ○	【知識及び技能】 文章の要約表現や同義表現の反復（繰り返し）、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張と、自分の調査した結果を関連づけながら整理・分析して、言語と自己把握との関わりについて、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と自己把握の関連性について、本文の理解と自己の調査結果から自分の考えをまとめ、説得力のある説明をしようとしている。	○	○	○	5
	「分人とは何か」 提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	・教科書 ・国語辞典			○ ○	【知識及び技能】 「主体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 二つの課題を追体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかみ、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直し、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深め、説明しようとしている。	○	○	○	5
	「メディアの変容」 挙げられている事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。	・教科書 ・国語辞典			○ ○	【知識及び技能】 「近代」「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性を、「制度的な枠組み」が強かった時代と比較して読み取り、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 二つの文章の主張を踏まえ、現代の人間関係の在り方について、自分の知識や経験と関連づけながら考えをまとめ、説得力のある説明をしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・文・読	書・読					
後期	「「リスク」と「リスク社会」」 対比に注意して論の展開をつかみ、 「リスク」という概念について理解 を深める。	・教科書 ・国語辞典		○	【知識及び技能】 文章の対比構造、具体例や他の言説の引用と主張 の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明し ている。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張と、「リスク」について考察したほか の文章や資料を関連づけて、近代社会における 「リスク」について、自分の考えを深 め、根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、「制御可能性が高まって いくこと」による「リスク」が生じる例につい て、関連する文章やこれまでの知識・経験をもと に、自分の考えを深め、根拠をもって説明しよう としている。		○	○	8
	「「である」ことと「する」こと」 例示と意見の関係を整理して主張を 捉え、変化する社会における人間の 在り方について考える。	・教科書 ・国語辞典		○	【知識及び技能】 「近代」という概念語について、辞書的な意味だ けでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解 し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「である」社会から「する」社会へ移行する社会 的要因や、「する」価値の浸透落差による近代日 本の状況を読み取り、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、「である」価値と「す る」価値という観点から自分の身近な出来事を見 直して考えを深め、説明しようとしている。		○	○	7
	定期考査			○			○	○	1
	「地図の想像力」 提示されている地図に注目して論の 展開を押さえ、地図に対する筆者の 考えを読み取る。	・教科書 ・国語辞典		○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりする ために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこ とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を 基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の 解釈を深めている。 【主】進んで近代的思考による科学主義的な地図 観に反駁する筆者の立場とその論理展開を理解 し、学習課題に沿って身近な地図から描き手の目 的や意図とその工夫を読み解き、自分の考えを述 べようとしている。		○	○	7
	「日本人の美意識」	・教科書 ・国語辞典		○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したり することを可能にする働きがあることを理解して いる。 【思判表】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を 基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の 解釈を深めている。 【主】粘り強く二項対立の論理展開を資料と結び つけて理解し、学習の見通しをもって日本人の美 意識と生活行動の関連性について、自分の考えを 深めようとしている。		○	○	7
	定期考査			○			○	○	1
	「混じり合う言葉」	・教科書 ・国語辞典		○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然など について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる 価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考 えを深めている。 【主】進んで多言語文化の中で育った筆者の体験 と、「言語の環世界」の考察についての関連性を 捉え、学習課題に沿って人間の思考や認識と言語 についての見方を広げようとしている。		○	○	6
	「言語と記号」	・教科書 ・国語辞典		○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したり することを可能にする働きがあることを理解して いる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展 開、表現の仕方について、書き手の意図との関係 において多面的・多角的な視点から評価してい る。 【主】粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造を つかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形 成力について、自分の考えを深めようとしている。		○	○	6
	「鏡の中の現代社会」	・教科書 ・国語辞典		○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然など について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる 価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考 えを深めている。 【主】進んで筆者の主張と、論拠となる五つの具 体例の関連性を理解し、今までの学習を生かして 自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持 つ社会を知ることの意義をつかもうとしている。		○	○	6
	定期考査			○			○	○	1 合計 78